



「たまな」ならでのつながる学び

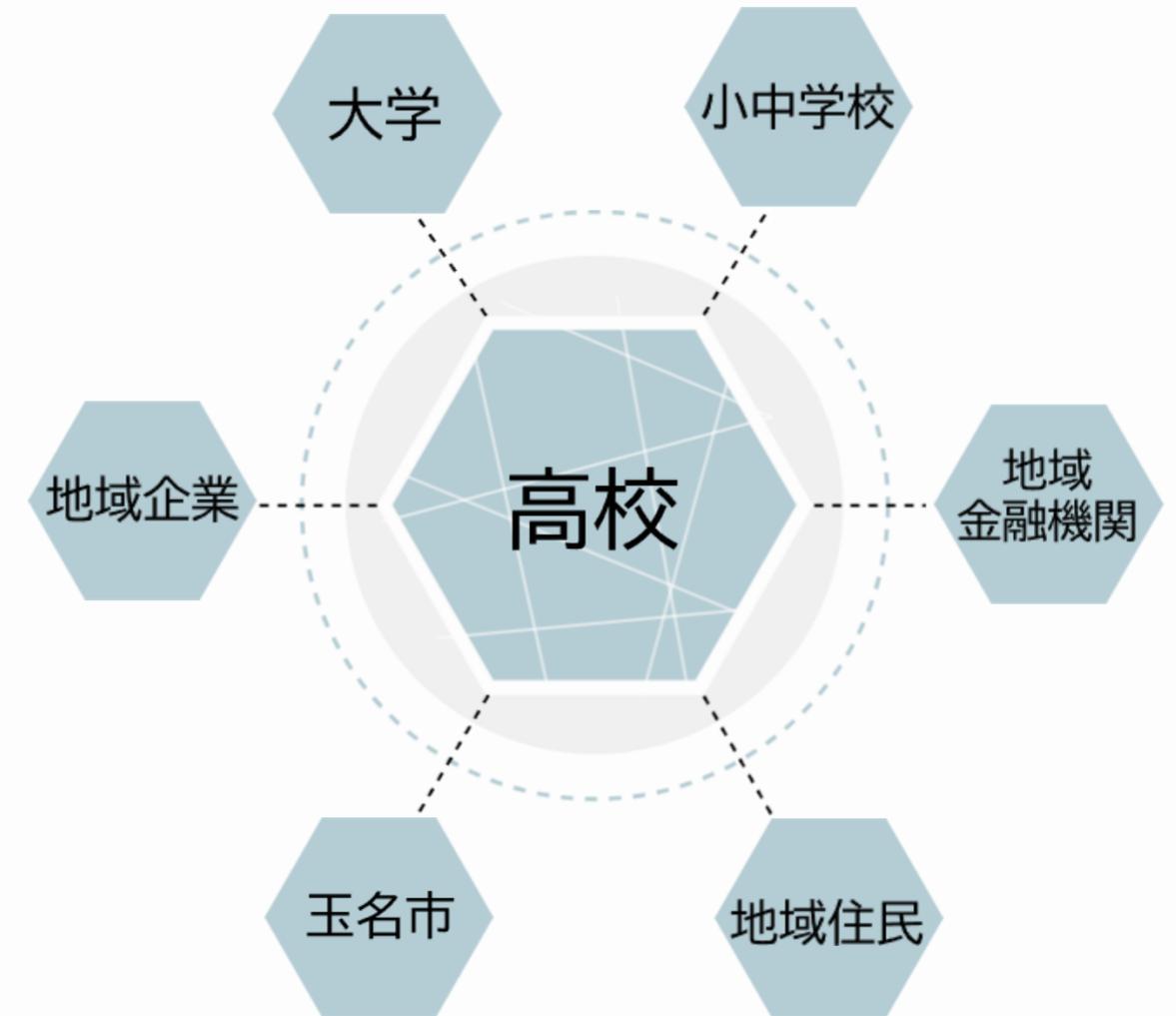
つながる学びとは — たまなならではの学び —

「生徒や地域に選ばれる学校づくり」を目標に掲げ、学校と地域が連携し“たまな”だからできる学びの機会を創出し、“たまな”で学びたいと思う環境づくりに取り組んでいます。

高校魅力化コンソーシアム

高校魅力化コンソーシアムとは、地域の住民や学校、企業など多様な主体がつながって、魅力ある高校づくりを目指す体制です。

玉名市では令和7年度より県内6カ所で開催している
高校魅力化コンソーシアム モデル構築支援事業に取り組んでいます。



つながる学びの実践例

01 県立3校による学びの連携

02 未来づくり研究所

03 高校生百貨店

04 玉名市高校生校外活動サークル「たまLabo.+」

05 高校生メディアチーム

01

県立3校による学びの連携

市内にある県立高校3校(玉名・玉名工業・北稜)では、令和7年度より、これまでそれぞれの高校の生徒を対象として行われてきたプログラムなどを他2校の生徒にも開放する取り組みが始まっています。

これにより、例えば玉名工業高校に在学している生徒が、造園に興味がある場合には、北稜高校から提供される造園に関するプログラムに参加することで、工業高校に在籍しながら造園について学び・体験する機会を得ることができます。

令和7年度は、玉名工業高校主催・北稜高校主催のプログラムが実施されました。



北稜高校主催 門松づくり



玉名工業高校主催 キャリア教育講演会

02

未来づくり研究所

「玉名に住みたい、住み続けたい、私たちが帰って来たい玉名を創る」をテーマに、高校生から29歳以下の玉名に想いを持った若者が集まり、魅力的なまちづくりを考えます。

大学の教授などを講師に招き、講演やワークショップを中心に6回実施し、最終回では発表を行います。

第6期(令和7年度)は玉名をPRしてみようをメインテーマとし、地域のコミュニティを祭りを通して考え、地域の方々へインタビューを行い動画制作を行いました。



講師による講義



ワークショップ

03

高校生百貨店

高校生がバイヤーに！

商品発掘・選定、仕入れ、事業者への取材、広報、接客販売までの実践的なプロセスを一貫して体験することができるプログラムを大阪のNPO法人と連携して実施しています。

玉名市内5つの高校から希望者を募るため、異なる高校の生徒との協働、取材を通して企業の方や接客・販売で幅広い世代の方との関わりの機会を得ることもできます。

ワークショップ5回＋実践販売会の計6回のプログラムで実践販売会は「アミュプラザくまもと」と連携し、2日間店内にポップアップショップを開設して実施しています。

実践販売会



ワークショップ

04

玉名市高校生活動サークル たまLabo.+

高校生が主役！好きなこと・得意なことを活かして【“やってみたい”を“やってみよう”】をコンセプトに2023年8月から活動をスタートし、玉名市内に在学・在住の高校生が学校の垣根を越えて一緒に活動しています。

※2026年3月現在のメンバー数 29名

◆これまでの主な活動◆

- ・玉名市内商業施設・公的施設の活性化をテーマとしたオリジナルイベントの企画・運営
- ・周辺市町(荒尾市、和水・玉東町)と連携したイベントや長崎県島原市の高校生との交流
- ・メディア出演 RKKラジオ、熊本日日新聞、ひまわりてれび



05

高校生メディアチーム

地元ケーブルテレビ局「ひまわりてれび」と連携したメディア事業を実施しています。

玉名市内5つの高校から番組制作やナレーション、取材手法などメディアに興味のある高校生を募って高校生メディアチームを編成。

ひまわりてれび制作部との企画会議で決まった取材先の高校にて取材活動を行い、高校生による魅力発信番組を制作。

制作した番組は月1回(リピート放送あり)ひまわりてれびにて放送されます。



テレビ局との企画会議